１　　学校経営方針

１　教育目標

　　　　　　心豊かで、たくましく生きる子の育成

２　めざす児童像

　　　　〇すすんで学ぶ子（知）　〇思いやりのある子（徳）　〇たくましい子（体）

　　　　　　　　　　　　　　　　～手をつなぎ、助け合い、励まし合うて進む子～

３　めざす学校像

・一人ひとり目標をもち、目標に向かって粘り強く挑戦できる学校

・児童や保護者、地域住民から信頼され、協力・応援される学校

・自校のよさを自覚して、伝統を守り受け継いでいく学校

４　学校経営の基本方針の重点と具体的取組

　重点目標　　　　「ともに学び、ともに進む、笑顔あふれるうかわっ子　～本気・挑戦・思いやり～」

・目標に向かって強い意志と行動力（**本気**）をもって粘り強く**挑戦**する児童の育成をめざす。

・自他の存在を認め合い（**思いやり**）、個々が自信をもって行動できる心豊かな児童を育成する。

・安心安全な環境の中で、保護者や地域住民からの信頼と応援を基盤に、地域に根ざした教育活動を展開する。

＜具体的取組＞

（１）確かな学力

・児童にとって「楽しい」「なるほど」「できた」など、実感できる授業を展開することで、自ら学びへと向かう力を育てる。

・意欲をもって主体的に学習に取り組めるよう、ICT機器を効果的に活用した学習活動を行い、学ぶ楽しさを実感でき

るようにする。

・学力向上ロードマップ・学力向上プランに基づき、組織的にPDCAサイクルで指導の充実を図り、校内研修を通して授業改善・授業力向上を目指す。

・適切な表現を身につけ、対話を通して協働的に学び、自分の考えを深めたり、再構築したりできるようにする。

・外国語の学習意欲を高めるとともに、基本的な知識・技能、それらを活用したコミュニケーション能力の育成を図る。

（２）豊かな心

・教育活動全般を通して、必ず一人ひとりに活躍の場を設け、自己有用感を実感させる。

・互いに尊重し合い、気持ちのよい挨拶や言葉遣いが、いつでもどこでも誰にでもできるようにする。

・道徳教育を推進し、「命の尊さ」「本気で粘り強くやり抜くことの大切さ」「思いやり」等を学び、人間性豊かで、自己の

心身を大事にできる児童の育成を図る。

・地域に学ぶ機会や体験活動を通して、心を豊かにし、地域に誇りと愛着がもてるようにする。

（３）健やかな体

・家庭と連携した安全教育・健康教育を推進し、心身ともに健康な児童を育成する。

・「体力アップ１校１プラン」をもとに、計画的に体力向上や運動能力向上を図り、年間を通して児童に「体を動かす楽し

さ」「体力の向上」を実感できる活動を実践する。

・各種体育的行事（スポチャレ・うかわっ子オリンピック・校内マラソン大会等）で、各自の目標に挑戦・努力し、やり遂げ

ることで生まれる達成感を味わうことができるようにする。

・「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムと、自律した生活習慣の定着を図る。

（４）安全・安心な学校づくり

・計画的な避難訓練や通学路の点検等を通して、危機回避能力の育成と家庭地域と連携をすることで、児童・保護者

が安心して通い、通わせることのできる安全な学校を目指す。

・「いじめは、どの子にもどの学校にも起こりうる」をいう認識のもと、いじめの未然防止、早期発見、早期対応を行い、

いじめや不登校のない安心で自分の居場所のある学校・学級をつくる。

・児童の困り感を把握し、個に応じた支援の仕方を組織的に工夫することで、自己有用感を高める。

・教職員一人ひとりが、危機管理意識を高くもち、報連相を徹底し、教育活動にあたる。

（５）家庭・地域との連携

・家庭学習の定着を図り、家庭学習の量的、質的向上を目指す。

・基本的な生活習慣の形成と健康な食生活の改善・充実を図る。

・教育目標達成に必要な教育資源「人・もの・自然」を教育課程に位置づけて、保護者や地域の協力を得ながら、地域

に根差した教育活動を意図的・計画的に展開していく。

・「海洋教育」を核として、地域の教育資源を有効活用した「ふるさと教育」に積極的に取り組み、地域のよさを見出し、地域の一員として、ふるさとに誇りを持つことができる学校づくりを目指す。

・各種便りやホームページを活用し、学校の取組や児童の活動の様子を発信する。

（６）組織力の向上と働き方改革

・学校経営への参画意識の高揚を図り、全職員が一丸となって組織的な校内指導体制を推進する。

・「若プロ」「校内研修」を通して、ともに高め合うことで、教職員の資質・授業力向上を目指す。

・事例等を学ぶ機会を設け、学校全体が自己管理や服務規律を意識する風土を醸成する。

・働き方改革を意識し、校務分掌に見通しをもち、各自が業務の効率化に努めると同時に、ワークライフバランスの充実

を図る。